



はとやま 雑感

町長 小峰孝雄

【今月のテーマ】二つの手紙

二つの手紙の内容を紹介します。一つ目は、鳩山中学校への手紙で、「おじいさんを助けてくれた方へ」という、鳩山中学校の保護者からのものです。

★

内容は次のようなものです。女子中学生3人が、赤沼地区の逆川沼公園付近でしゃがみ込んでいたおじいさんに声をかけ、立ち上がるのを助けようとしたのですが、倒れかけてしまったので、近くの駐車場に車を停めていた手紙の主に、「自宅まで送り届けてください」とお願いしたそうです。

無事に送り届ける事ができたということ、その3人の女子中学生に伝えていただきたいという内容でした。

★

二つ目は、今宿小学校へ届いた、町外に住む方からの手紙です。4月28日の「つつじ祭」の会場で、その方が小児がん治療開発サポートの寄付を募っていたそうです。

今宿小学校の子どもたちがたくさん来場していたので、「君たちと同じくらいの年で、ガンになった子どもたちのために、寄付を集めている」と説明したところ、ほとんどの子どもたちが、お祭りの楽しみとして持ってきていたお小遣いの中から、進んで寄付をしていたとのこと。中には、「もう欲しいものはないから」と数百円から千円を寄付した小学生もいたようです。

★

二つの手紙主の方はどちらも、子どもたちの他人を思いやる行動へのお礼と、こうした子どもたちを育てている学校の先生たちに対する感謝の言葉で手紙を締めくくっていました。



鳩山の窯業について講義を受ける学生たち（写真右。3月19日、多世代活動交流センター内にて）。赤沼古代瓦窯跡を見学する学生たち（写真左。4月17日、町農村公園内にて）。



瓦塔の屋根の製作を体験する学生たち（4月17日、多世代活動交流センター内にて）。瓦塔とは「粘土で製作された五重の塔」です。町内での瓦塔片の出土は、その生産地であったことが伺えます。



はとんのワンポイント講義

鳩山町は、古くから窯業生産が盛んに行われてきました。鳩山町を中心に残る古代窯業遺跡の規模は東日本最大級で、関東・東北では最大とされています。鳩山町では特に「須恵器」と「瓦」の生産が盛んでしたが、奈良時代に国分寺建立が始まると、武蔵国分寺（東京都国分寺市）の瓦が鳩山で生産されるようになりました。

- ① 教材が必要な場合は、はっきり断りましょう。
- ② その場で契約せずに、教材が本当に必要か、よく検討しましょう。子どもが教材の場合は子どもに取組む気があるか、やる気を継続できるか、よく確認しましょう。
- ③ 契約前に、契約内容や解約について十分に説明を受け、契約書類を確かめましょう。
- ④ 訪問販売については、契

こんなとき
どうしたらいいの？

埼玉県消費生活支援センター川越
☎ 049-247-0888 (相談専用ダイヤル)
※受付時間は午前9時～午後4時
(土・日曜日・祝日・12月29日～1月3日を除く)
問合せ：役場産業振興課 ☎ 296-5895

彩の国いきがい大学 東松山学園学生が 古代鳩山を学ぶ



▲学生が作成した古代瓦

3月から4月にかけて、「彩の国いきがい大学東松山学園」のふるさと伝承科に所属する8人の学生が、武蔵国分寺瓦について学ぶため鳩山町を訪れました。講義は座学のほか、東京都国分寺市や町内の窯跡の見学、古代製法を再現した瓦づくりなど、4日間に行われました。

今回、講師を務めた町文化財保護委員の中島孝允さんは、「文献や発掘による新たな発見により、歴史の解釈は

一方、受講者は「学校で学んだ日本史の出来事と、身近な地域の歴史が繋がっていることに驚きました」「古代のやり方で瓦を作れ、とてもいい経験になりました」「子どもどものときに何も分からず鳩山に化石を見に来たが、その理由が少し分かった良かつたです」などと、充実した表情で感想を述べていました。

【事例】

「無料の子供の学力診断テストを受けませんか？」と電話があり、無料ならいいかと思ってテストを受けさせた。後日業者から「学力診断テストの結果を説明するので訪問したい」と言われ、了解した。

テストの結果が説明され、「今のままでは希望の学校に合格は難しい」と言われ不安になっていたところ、「今から当社の学習教材を使用してがんばれば間に合う」と、5教科3年分で90万円の学習教材の購入を勧められた。

迷っていると、「解らない点は電話やファックスで質問できる」「今日申し込みばキャンペーン価格になる」と勧誘され、契約した。

後日、教材が届いたが、量が多く子どもはやる気をなくしてしまい、教材はほとんど使用していない。冷静に考えると高額な気がするので、契約を取り消して、代金を返金してほしい。

無料や低額で学力診断テストを受けるよう勧め、診断結果を説明するという名目で訪問し、学習教材の販売を行うケースが少なくありません。

断っているにもかかわらず、長時間の勧誘を受けた、一度に多量の教材を契約してしまったりといったトラブルが起きています。

広報マン フォトレポート



かつて鳩山町が、須恵器や武蔵国分寺瓦の一大生産地であった歴史を活かし、「焼き物の里」としてのまちおこしに取り組んでいることを、以前の広報でお伝えしました。

今月号では、窯業の歴史を研究し、町の活性化・PRにつなげていこうと活動を続ける、町文化財保護委員や古代瓦製作ボランティアの皆さんが、3月～4月の間に、「彩の国いきがい大学東松山学園」ふるさと伝承科の学生に対し行った、「武蔵国分寺瓦講義」の様子をレポートします。



古代瓦製作ボランティアの皆さんによる指導のもと、古代の製法で瓦を作る学生たち（4月20日、多世代活動交流センター内にて）

今月のテーマ

学習教材の訪問販売

トラブル情報
くらしの
110番

消費者被害の未然・拡大防止を効果的に呼びかけるため、埼玉県消費生活支援センターから配信されている事例をご紹介します。

